

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 平成30年度事業実績(高齢者福祉分野)

| 市町村名 | 事業名称 | 地域におけるニーズ、事業の目的及び内容 | 活動(アウトプット)指標の達成状況 | 達成状況 | 目標・成果(アウトカム)指標 | 実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等 | 事業費総額(円) (一般財源等含む) | 参考リンク | 市町村の担当部署 |
|------|--------------|--|---|------|---|--|-----------------------|---|-----------------------|
| 池田市 | アクティブシニア応援事業 | 超少子高齢化社会を迎えた今、元気な高齢者が地域社会の支え手として活躍する必要性が高まっている。本市では、高齢者が積極的に社会に参加し、元気でいきいきと生活できる環境づくりのための経費に充てるため、1億円のアクティブシニア応援基金を創生。この基金を財源として、高齢者が地域で元気に生活できるよう、健康づくり、生きがいづくり等の事業に対して補助金を交付する。(年間1千万円上限) ○新たな取組または活動の立ち上げに関する事業:補助基準限度額100万円 補助率10分の10 交付限度額100万円 ○既存の取組または活動の活性化・拡充等に関する事業:補助基準限度額50万円 補助率5分の4 交付限度額40万円 | 事業申請19件 (目標:事業申請10件以上) 目標値を上回ったため | ◎ | 高齢者に対する福祉が増進されるとともに、元気な高齢者が地域社会の支え手として活躍する場が増える。 ・新たな取組または活動の立ち上げ 7件 ・既存の取組または活動の活性化・拡充等 3件 | 新規事業件数が13件にのぼり、また継続事業に関しても対象者を幅広くするなど拡充もしくは活性化を条件としていたため、高齢者に対する福祉が増進されるとともに、元気な高齢者が地域社会の支え手として活躍する場が増えたと考えられるため成果があったと考えられる。今後も継続予定。 | 6,733,257 | | 福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課 |
| 池田市 | 街かどデイハウス支援事業 | 地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特長を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援することを目的とする。 | 箇所数1ヵ所、利用者数3,472人、延開所日数156日 (目標:1ヵ所、3,400人、158日) 利用者数の目標値は達成しているため | ○ | 利用登録者のうち80%の割合(非該当を継続している人数68人/年度当初の利用登録者数86人)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。 | 前年度より利用者数が増加しており評価できる。 平成30年度の利用登録者数は86名。うち8割以上が要介護認定非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。今後も継続していきたい。 | 3,479,080 | | 福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課 |
| 吹田市 | 街かどデイハウス事業 | 地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点としての活動に取り組む住民参加型非営利団体(8団体)に対し、運営補助を行います。 | 箇所数:8ヵ所、延利用者数:15,492人、延開所日数:1,299日(目標:8ヵ所、16,500人、1,400日) 各街かどデイハウスの活動は定着してきているが、スタッフ・利用者ともに高齢化が進み、人材の確保が課題となっている。 | △ | 利用登録者のうち85.2%の割合(非該当を継続している人数/年度当初の利用登録者数)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能が図られている。 | 利用登録者のうち、95.7%の割合(非該当を継続している人数/年度当初の利用登録者数)で要介護の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点として機能したと考えられる。 市内8ヵ所にある街かどデイハウスにおいて、年間延利用者数は15,492人であり、昨年と比べて若干減少している。今後、街かどデイハウス事業や施設等について広く知ってもらうために、さらなる周知を図っていく必要がある。 | 46,226,462 | https://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/di-v-fukushi/koureifukushi/koureishien/011661_copy/011671.html | 福祉部 高齢福祉室 |
| 泉大津市 | 街かどデイハウス事業 | 地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体である市内2ヵ所の街かどデイハウスに対し、運営補助を行う。 | 箇所数:2箇所、延べ利用者数:5,666人、延開所日数:499日(目標:2箇所、5862人、504日) 補助金を支出することにより、安定した施設運営を行えるが、年額上限を定めているため、目標を上回することは難しい。 | ○ | 利用登録者のうち100%の割合(非該当を継続している人数324人/年度当初の利用登録者数324人)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。 | 利用登録者のうち100%の割合(非該当を継続している人数325人/年度末の利用登録者数325人)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者が要支援者等になることを予防するために、市内2ヶ所の街かどデイハウスにおいて介護予防及び生活支援を提供することにより、在宅高齢者の自立した生活維持、閉じこもり防止、介護予防意識の向上につながった。 | 11,876,901 | | 健康福祉部高齢介護課 |
| 守口市 | 地域福祉推進事業 | [目的]市内の高齢者が地域の人々とのふれあい、子どもたちとの交流を図ることにより、健康で生きがいを持った生活が送れるよう、さんあい広場(地区ふれあい施設)を設置する。 [事業内容]給食事業・趣味活動事業・世代間交流事業・その他必要な事業 | 箇所数:4箇所、延利用人数:32,586人、活動日数:355日(目標:4箇所、42,000人、355日) さんあい広場さたで改良工事を行い、一定期間休止し、利用人数が減少したため。 | △ | 在宅高齢者の介護予防と自立支援を図るため、要介護認定非該当の利用登録者が100%(年度末に非該当を継続している人数/年度当初の利用登録者数)の割合で非該当を継続することを目指す。 | さんあい広場さたについて改良工事を行い、部屋を拡大したため、今後は利用人数の今まで以上の増加を見込む。 | 29,397,000 | | 健康福祉部高齢介護課 |

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 平成30年度事業実績(高齢者福祉分野)

| 市町村名 | 事業名称 | 地域におけるニーズ、事業の目的及び内容 | 活動(アウトプット)指標の達成状況 | 達成状況 | 目標・成果(アウトカム)指標 | 実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等 | 事業費総額(円) (一般財源等含む) | 参考リンク | 市町村の担当部署 |
|-------|--------------|---|---|------|---|--|-----------------------|---|-----------------|
| 茨木市 | 街かどデイハウス支援事業 | 地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティーネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援するため、街かどデイハウス事業に対し、市が補助金を交付する。また、介護保険制度下で自立(非該当)と判断される高齢者に対して、住民参加による柔軟できめ細やかな介護予防及び地域支え合いに資するサービスを提供することで、高齢者の住み慣れた地域での自立生活の維持や閉じこもり防止の効果が期待できる。 | 箇所数:11箇所、延利用人数:26,263人、延開所日数:1,830日(目標:11箇所、28,152人、1,932日) | △ | 要介護認定における非該当継続率を利用登録者のうち95%以上とすることを目指し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の機能構築に繋げる。 | 在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の機能構築につながった。 | 50,194,102 | | 健康福祉部 長寿介護課 |
| 富田林市 | 街かどデイハウス事業 | 地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特長を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティーネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援する。 | 延べ利用者数4,016人、活動日数444日、街かどデイハウスの数3箇所(目標:4,114人、3箇所、444日) | ○ | 利用登録者の自立継続率100% | 地域における身近な介護予防拠点及び集いの場として、高齢者の介護予防や社会参加により、自立支援及び活動の継続につなげる。 | 11,194,162 | | 富田林市健康推進部 高齢介護課 |
| 寝屋川市 | 街かどデイハウス支援事業 | 地域における身近な介護予防拠点として介護保険制度の要介護認定を受けていない高齢者の自立した生活を支援するとともに、地域住民主体の活動を促進するため、街かどデイハウスの運営を支援します。 | 箇所数:2カ所、延利用人数:5,992人、活動日数:432日(目標:2カ所、6,069人、430日) | △ | 年度当初の利用登録者数が100%(534人/534人)の割合で要介護認定の非該当を継続しており、みんなと楽しく会話しながらの昼食やお茶を高齢者の日常生活の中に位置づけることによって閉じこもりを防止し、転倒予防や体操等による具体的な介護予防の他、カラオケや季節行事を通して高齢者の生活に潤いを与えている。 | 活動を継続することにより高齢者の閉じこもり予防、運動を促すことによる転倒予防等が図られている。新たな利用者の確保のため、継続した事業周知を図っていく。年度当初の利用登録者数が95%(510人/534人)の割合で要介護認定の非該当を継続していた。 | 10,345,000 | http://www.city.nevagawa.osaka.jp/boshu/1385364576889.html | 福祉部 高齢介護室 |
| 河内長野市 | 街かどデイハウス事業 | 地域で高齢者の自立生活を支えるとともに、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした自主活動や地域における身近な介護予防の拠点となる活動に取り組む住民参加型非営利団体の事業に対して補助金を交付し支援する。 | 事業所数3カ所、延べ利用人数3,476人、活動日数480日(目標:3カ所、3,416人、483日) | ◎ | 利用登録者の自立継続率100%(非該当の登録者80人/年度当初の利用登録者80人) | 利用登録者の自立継続率97.5%(認定非該当の利用登録者78人/年度当初の認定非該当利用登録者数80人) | 7,141,000 | | 市民保健部 高齢福祉課 |
| 大東市 | お茶のみ休憩所運営事業 | 社会福祉協議会が事業主体となり実施する「お茶のみ休憩所」に対して家賃・光熱水費等の運営に係る費用を補助するもの。「お茶のみ休憩所」は「気軽にふらっと寄り合える場」として、閉じこもり予防・介護予防の地域拠点となることを目的に実施される。内容は介護予防体操・茶話会・相談事業・福祉情報の提供・軽度認知症者の一時預かり・調理実習等。特長は当該区域の自治会や民生委員、介護者家族の会等で組織される運営委員会が運営主体となり地域の実情に合った創意工夫により運営が行われること。 | 開所日数:週2日、年間102日(目標:週2日、年間102日) | ○ | ○閉じこもり予防 ○介護予防 ○仲間づくり ○家族介護者のレスパイト | (1)お茶のみ休憩所の月平均利用者は19.5名である。自宅から休憩所まで徒歩で来られる利用者も多く、健康保持・介護予防を図るうえで大きな役割を担っている。 (2)世話人や利用者同士の会話を通して、気力を養う利用者も多く、生活の向上を図る場として確立してきている。 | 460,000 | http://www.syakyo-daito.jp/syokukai.html | 福祉・こども部 福祉政策課 |

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 平成30年度事業実績(高齢者福祉分野)

| 市町村名 | 事業名称 | 地域におけるニーズ、事業の目的及び内容 | 活動(アウトプット)指標の達成状況 | 達成状況 | 目標・成果(アウトカム)指標 | 実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等 | 事業費総額(円) (一般財源等含む) | 参考リンク | 市町村の担当部署 |
|------|----------------|---|---|------|---|--|-----------------------|---|-------------------|
| 和泉市 | 街かどデイハウス支援事業 | 本事業は、地域の身近な既存施設を活用して、介護保険制度下で自立と判定された高齢者等に対する介護予防を図りつつ、地域で高齢者の自立生活を支えられるよう住民参加による柔軟できめ細かなサービスを提供する団体を支援し、高齢者の多様なニーズに応えられる基盤整備を図ります。現在、本市内に街かどデイハウスは11ヶ所あります。 | 箇所数:11か所、延利用者数:18,988人、延開所日数:2,419日(目標:11か所、21,178人、2,563日) | △ | 利用登録者のうち91%(非該当を継続する人数309人/年度当初の利用登録者348人)で要介護認定の非該当を継続することを目指す。在宅高齢者の介護予防及び地域の福祉活動拠点としての機能を継続する。 | 2ヶ所の事業休止のため、例年と同じ比較はできないが、3月末時点で運営継続する施設全体では、利用者の86%が介護認定の非該当を維持していることから、本事業が在宅高齢者の介護予防に重点をおいた地域福祉活動の拠点としての役割が果たされているものと評価する。各施設で後期高齢者が増えつつあるが、健康で、地域の集いの場に継続参加し、各施設スタッフとともに協力しながら活動を継続されている。各施設はとじこもり防止のため、参加状況を確認し、随時声かけを行っている。 | 44,318,038 | http://www.city.osaka-izumi.lg.jp/mokuteki/fukushi_shogai/kourei/1325811562152.html | 生きがい健康部高齢介護室 |
| 箕面市 | いきいき安心ネットワーク事業 | 独居高齢者世帯等に緊急通報システムを設置する | 6,536件(年間延べ件数)(目標:7,356件) | ○ | ・緊急通報システムの設置により、高齢者が安心して暮らせる生活基盤を確保する。 ・急病や災害等の緊急事態発生時に迅速な対応を行う。 ・前年度の緊急出動回数198回、救急搬送回数58回 | ・緊急通報システムの設置により、高齢者が安心して暮らせる生活基盤を確保する。 ・急病や災害等の緊急事態発生時に迅速な対応を行う。 ・平成30年度の緊急出動回数241回、救急搬送回数52回 | 4,803,315 | | 健康福祉部高齢福祉室 |
| 羽曳野市 | 街かどデイハウス支援事業 | 介護保険制度下で自立と判断される高齢者に対して、住民参加によるきめ細やかな介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、社会的孤立感の解消、心身機能の低下を 방지、要支援者・要介護者となるのを予防する。また、地域の福祉活動の拠点として高齢者の見守りや地域住民との交流を行うことにより地域の連携強化が図られる。 | 箇所数:2か所、延利用者数:4,614人、開所日数:301日(目標:2か所、4,510人、302日) | ○ | 在宅高齢者の介護予防及び自立支援を図るため、要介護認定非該当の利用登録者が100%(年度末に非該当を継続している人数/年度当初の利用登録者数)の割合で非該当を継続することを目指す。 | 水中ウォーキングやパソコン教室、コーラス、演劇などそれぞれの街かどデイハウスの特色を生かし、運動器の機能向上や認知症予防といった介護予防につながる取り組みが行われた。また、街かどデイハウスの利用者が、近所の閉じこもりがちな高齢者を誘って利用する事例も見られ、要介護(要支援)状態とならない取組みとして、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築に寄与できた。また、目標数値の要介護(要支援)になっていない利用者の割合:100%も達成できた。 | 9,600,000 | | 保健福祉部保険健康室地域包括支援課 |
| 門真市 | 街かどデイハウス支援事業 | 介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、QOLの向上、閉じこもり予防の効果がある。今後も利用者数の増大を目指すとともに、利用者の更なる健康増進を図ることを目的とする。 地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネット、介護予防事業としての活動に取り組む住民参加型非営利団体に対し運営補助を行う。 街かどデイハウスの数 2か所 | 箇所数:2箇所、延利用者数:3,456人、活動日数:276日(目標:2箇所、3,098人、288日) | ○ | 今年度も引き続き2箇所を実施。在宅高齢者の自立支援、介護予防の推進のための地域における身近な介護予防拠点である。利用者が地域において自立した生活を維持し、要介護(要支援)状態とならないよう活動を行うことで自立の継続率81.5%(非該当の利用登録者数159人/年度当初の利用登録者数195人)を維持する。 | 平成28年度まで実施していた3箇所の内、1箇所が平成29年度より介護予防・日常生活支援事業総合事業へ移行したため、今年度は2箇所を実施。 前年度に比べ、延利用者数は406人増加、延利用時間数は1,175時間増加しており、本事業の需要が増加していると考えられる。また、自立の継続率は83.6%(非該当の利用登録者数199人/年度末の利用登録者数238人)となっており、自立の継続率が高いことから、介護予防事業として機能している。 今後も街かどデイハウスを活用し、地域における身近な介護予防拠点として、高齢者の自立支援・介護予防の推進を図り、高齢者の外出機会の創出・増加に努める。 | 5,129,306 | | 保健福祉部高齢福祉課 |

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 平成30年度事業実績(高齢者福祉分野)

| 市町村名 | 事業名称 | 地域におけるニーズ、事業の目的及び内容 | 活動(アウトプット)指標の達成状況 | 達成状況 | 目標・成果(アウトカム)指標 | 実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等 | 事業費総額(円) (一般財源等含む) | 参考リンク | 市町村の担当部署 |
|------|-----------------|---|--|------|--|---|-----------------------|---|---------------|
| 高石市 | 街かどデイハウス事業 | 在宅の高齢者の介護予防を図り、地域における既存施設を活用し、住民参加による高齢者の自立生活の支援を行う特定非営利活動法人等の団体に対し、運営補助を行う。 ・街かどデイハウスの箇所数 1箇所 ・前年度延べ利用者数 928人 | 利用延べ人数 1,178人、開所日144日(目標:年間延べ利用者数900人を目標とする。) | ◎ | 目標:成果(アウトカム)指標 利用登録者のうち88.5%の割合(非該当を継続している人数23人/年度当初の利用登録者数26人)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能が図られている。 | 高齢期をいきいきと過ごすことができるようにするためには、健康づくりを市民一人ひとりが意識し、運動や食事、休養等に取り組むことが重要ですが、仲間と共に取り組むことにより、ふれあいもでき継続して行えます。そのため、高齢者が地域での主体的な健康づくりを促進するためのグループの育成や拠点の確保のため、市内の社会資源を活用しながら街デイのあり方等について再検討するとともに利用者のニーズに沿って、内容の充実や質的な向上を図っていく必要があります。 | 4,162,952 | | 高齢・障がい福祉課 |
| 泉南市 | 泉南市街かどデイハウス支援事業 | 高齢者の介護予防を図るため、地域の既存施設を利用し、住民参加による、柔軟できめ細かな日帰りサービスを提供する住民参加型非営利団体を支援し、当該高齢者の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的とする。 ・街かどデイハウスの数 4箇所 | 箇所数:4か所、延利用者数:2,828人、開所日562日(目標:4か所、3,600人、620日) 台風等自然災害の影響で、延べ利用者数・開所日どちらも昨年を下回った。 また、本事業は今後の見通しも不明確なため、実施事業所が積極的に新規利用者の募集が難しいとの意見があった。 | △ | 在宅高齢者の介護予防及び自立支援及び閉じこもり防止のための地域の福祉活動拠点の構築。利用登録者の自立の継続率100%を目指す。 | 介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、閉じこもりの防止に一定の効果あり。 ※介護認定を受けた者の中には、住宅改修のみを希望し、以後介護保険サービスは利用していない事例も複数あり。 | 11,412,000 | | 健康福祉部長寿社会推進課 |
| 四條畷市 | 街かどデイハウス事業 | 地域で高齢者等の自立した生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとして、四條畷市唯一の街かどデイハウス事業(街かどデイハウスさんら(四條畷市中野新町11-35))に取り組む住民参加型非営利団体を支援するため、運営費(活動費、光熱水費及び電話代)補助を行う。(街かどデイハウスの数1箇所) | 箇所数:1箇所 延利用者数:1,904人、開所日数201日(目標:1箇所、1,950人、196日) 年間事業計画に基づいて事業を遂行した結果、概ね設定した目標数値を達成することができた。 | ○ | 在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築 ※年度当初の利用登録者数38名の内、要介護認定非該当の利用登録者数が31名居るが、事業取組みにより要介護状態に至るのを遅らせることを目指す。 | 在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築 ※年度当初の利用登録者数37名の内、要介護認定非該当の利用登録者数が34名居るが、当事業での取組みが要介護認定に至らない効果に繋がった。 | 2,092,861 | | 健康福祉部高齢福祉課 |
| 交野市 | 街かどデイハウス支援事業補助金 | 介護予防や地域の高齢者との交流の場として、また、高齢者の活力を活かすことのできる場として、地域の活動拠点を整備し、下記のサービスを行います。 (1)必ず実施すべきサービス:健康チェック・給食・健康体操・筋力向上トレーニングなどの介護予防活動 (2)必要に応じて実施するサービス:趣味、創作活動 (3)利用者の希望に応じて実施するサービス:入浴 (4)その他:街かどデイハウスの数 2箇所 | 利用登録者の自立の継続率100%、箇所数:2か所、延利用人数:1872人、年間活動日数:251日(目標:利用登録者の自立の継続率100%) 220人の利用登録者のうち、約7%が何らかの認定を受けていたため。 | △ | 利用登録者の自立の継続率100%で、要介護認定の非該当を継続し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域福祉活動拠点としての機能構築が図られた。 | 引き続き、利用登録者の自立の継続を目指し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築を図っていきたい。 | 4,570,600 | | 福祉部高齢介護課 |
| 島本町 | 街かどデイハウス事業 | 地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体に対し、運営補助を行うもの。 街かどデイハウス箇所数:1箇所 | 1箇所、延利用者1,205名(目標:1箇所、延利用者1,400名) 新規で参加された方が少なかった。今後は、新規の方でも参加しやすいようにより多くの方に周知していくことが必要である。 | △ | 要支援・要介護認定を受けていない自立の高齢者に対し、介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活を維持し、閉じこもり防止を図る。 | 利用登録者のうち72%の方が、要介護認定を申請していない方であることから、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。 今後の課題として、より多くの方に参加してもらえるように、周知する方法を検討する必要があります。 | 3,000,000 | http://www.shimamotocho.jp/gyousei/kakuka/kenkoukusibu/ikii/kikenkouka/nenchosya_fukushi/nencyousya_fukushi_service/131_0457855294.html | 健康福祉部 いきいき健康課 |

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 平成30年度事業実績(高齢者福祉分野)

| 市町村名 | 事業名称 | 地域におけるニーズ、事業の目的及び内容 | 活動(アウトプット)指標の達成状況 | 達成状況 | 目標・成果(アウトカム)指標 | 実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等 | 事業費総額(円) (一般財源等含む) | 参考リンク | 市町村の担当部署 |
|------|------------------|--|---|------|--|---|-----------------------|---|---------------|
| 島本町 | ひとり暮らし高齢者等実態把握事業 | 住民基本台帳上、ひとり暮らしである高齢者に対し、ひとり暮らし高齢者実態把握事業を周知し、該当者から登録の同意を得る。台帳の作成に同意された方の情報を行政と民生委員児童委員で保有し、日頃の見守りや安否確認に活用する。 | 226名(目標:226名【H30.10.1時点の住民基本台帳上65歳以上の内、台帳に登録が無い方】) 今年度、新たにひとり暮らしとなった方を対象に調査を実施することができた。 | ○ | 65歳以上のひとり暮らし年長者の緊急連絡先を把握することにより、日頃の見守り活動を充実させる。 | 今年度の調査で返答があった数は123件で返答率は54%であった。今後の課題としてはより多くの方に制度を理解していただくように内容の検討や多くの方に周知していく必要がある。 | 319,236 | | 健康福祉部 いきいき健康課 |
| 忠岡町 | 街かどデイハウス事業 | 地域での高齢者の自立支援を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体に対し、運営補助を行うことにより、在宅高齢者の保健福祉の向上に資することを目的とする。 | 箇所数:1か所、延べ利用者数:2289人、開所日数:185日(目標:1か所、2500人、220日) 同じ人の参加で、新しい人の加入があまりないため。 | △ | 利用登録者のうち82.4%の割合(非該当を継続している人数42人/年度当初の利用登録者数51人)で、要介護認定の非該当を継続しており、介護保険制度下で自立と判断された在宅高齢者のうち、要支援者等になるのを予防する必要がある者に対し、介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、閉じこもり防止の効果を考えている。 | 事業内容について、広報等で周知していく必要があると考える。利用登録者のうち88.8%の割合(非該当を継続している人数48人/年度当初の利用登録者数54人)で、要介護認定の非該当を継続しており、介護保険制度下で自立と判断された在宅高齢者のうち、要支援者等になるのを予防する必要がある者に対し、介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、閉じこもり防止の効果を考えている。 | 5,424,000 | https://www.twn.tadaoka.osaka.jp/?ka_details=%e8%a1%97%e3%81%8b%e3%81%a9%e3%83%87%e3%82%a4%e3%83%8f%e3%82%a6%e3%82%b9 | 健康福祉部 高齢介護課 |
| 田尻町 | 田尻町高齢者生きがい事業 | 田尻町社会福祉協議会に委託して、田尻町内に居住する概ね60歳以上の高齢者の方を対象に、生きがいづくりのために生きがいづくり教室を開催する。DVDを見ながら椅子に座って行える体操や脳トレクイズ・レクレーション教室を実施し、生きがいづくりや健康維持・介護予防を自発的に行う高齢者を増やすことを目的に、田尻町高齢者生きがい教室を実施する。教室のメニュー作りや、参加者の運動能力を理学療法士が確認し指導することで、高齢者誰もが安心して参加することができ、自発的に自分の生きがいづくりのために教室に参加する高齢者が増える。また、高齢者自らが生きがいづくり活動を行う際の居場所や高齢者同士の交流拠点の提供を行う。 | 開催回数4月～3月:週5回×4週、のべ参加人数6,889人(目標:開催回数4月～3月:週5回以上×4週、のべ参加人数5,000人) 高齢者生きがい事業について積極的に周知したことにより、目標数値を上回ることができた。 | ◎ | 高齢者の生きがいづくりのための介護予防の拠点の構築及び、高齢者の健康維持と体力向上を目標とする。参加者の可動範囲体力チェックを実施し、年度末には体力向上結果の確認を行う。60%以上/参加者総数:体力の維持又は向上 配置人数嘱託1名(常勤)及び理学療法士1名(週2回) 定員:1回10名以上 生きがい教室補助員1名(非常勤)、生きがい教室(週3回) | 引続き、町内の高齢者が積極的に参加したくなるような生きがいづくり教室を開催するとともに、高齢者自らが生きがいづくり活動を行うことができるように居場所や交流拠点の提供を行う。 | 8,712,527 | | 民生部 福祉課 |
| 岬町 | 町営住宅独居老人等見守り事業 | 月2回程度、独居高齢者が多く住む町営住宅を見守り訪問員が訪問し、見守り活動を行う。 | 巡回員4人×月2回×12ヶ月、延べ96人での事業実施(目標:巡回員4人×月2回×12ヶ月、延べ96人) 本年度も巡回見守りを予定通りに実施することができた。 | ○ | 本年度も巡回見守りを予定通りに実施することにより、高齢者の孤独死を未然に防ぐことを目指す。 | 本年度も巡回見守りを予定通りに実施することにより、高齢者の孤独死等を未然に防ぐことができた。今後ますます高齢化や核家族化により、独居高齢者の増加が見込まれるため引き続き巡回見守り活動を継続的に実施する必要性が高い。 | 384,000 | | しあわせ創造部福祉課 |